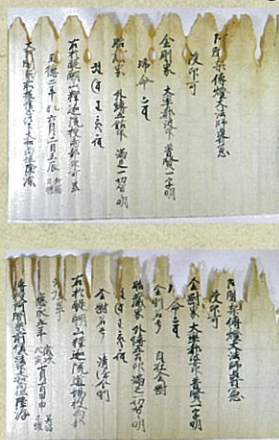




- ① 絹本着色地蔵菩薩像 鎌倉時代(3/18まで)
 - ② 天之図(星図) 室町時代(3/18まで)
 - ③ 木造 十一面観音立像 平安時代(3/18まで)
 - ④ 金銅宝相華文馨 平安時代(3/18まで)
 - ⑤ 隆源授睿憲伝法灌頂許可印信(3/20から)
(瀧谷寺文書より)至徳2年(1385)
 - ⑥ 隆源授睿憲伝法灌頂阿闍梨位印信(3/20から)
(瀧谷寺文書より)応永5年(1398)
- すべて瀧谷寺蔵
- 国宝 ○国指定重要文化財 ○県指定文化財



坂井市三国町の古刹^{たきだんじ} 瀧谷寺は、南北朝時代の1375年、睿憲(えいけん)上人によって開かれました。その後、性海寺とともに、越前における真言宗の有力寺院として重要な位置を占めました。近年は国宝「宝相華文馨^{ほうそうげもんけい}」をはじめ多数の文化財を擁する寺としてもよく知られています。

今回、瀧谷寺に伝来する宝物のうち、前期では瀧谷寺の隆盛を示す指定文化財を、後期では開山睿憲上人に関わる文書類(瀧谷寺文書より)を中心に、法会で使用される密教特有の仏画や曼荼羅図をご紹介します。また、同寺のみならず越前の歴史や文化を知る上で重要であることから、昨年県指定文化財となった瀧谷寺文書の一部も紹介します。

真言教学の寺として、越前三国の名所としての瀧谷寺の魅力を紹介します。この機会に是非ご覧ください。

◆展示コーナー

1 <前期：3月7日～18日> 瀧谷寺の名宝

国宝・宝相華文馨ほか国指定重要文化財(2点)などを中心に瀧谷寺を代表する文化財を一挙公開。

<後期：3月20日～4月12日> 開山睿憲上人と真言密教

県指定文化財となった瀧谷寺文書の中から、開山睿憲上人が残した真言宗の書籍を中心に紹介します。

2 真言密教のほとけと曼荼羅

密教にみられるさまざまな「ほとけ」のすがたを紹介します。

3 古文書からみえる瀧谷寺の寺領

法会や修理を含む寺院経営は、領主から公認された寺領によって支えられていました。このような経済的側面を瀧谷寺文書から紹介します。

4 番外 ちょっと変わった「たからもの」

幽霊が残したとされる「幽霊の片袖」や越前万歳の様子を描いた「絵馬」などを紹介します。

◆関連イベント

◎展示説明会

3月7日(土)、28日(土)14時から 解説：河村 健史(当館学芸員)

※展示資料・内容・日程は都合により変更されることがあります。

[ご利用案内]

開館時間／9時から17時まで(入館は16時30分まで)
 会期中休館日／3月11日(水)・19日(木)・25日(水)・4月8日(水)
 観覧料／一般…100円 団体一般…80円 高校生以下・70歳以上の方…無料
 ※20名以上の団体は2割引

[交通案内]

JR福井駅より ●タクシー約10分
 ●京福バス 福井駅前のりばから
 【丸岡線大名町経由】「宮前町」下車
 【大和田エコライン】「県立歴史博物館前」下車
 ●コミュニティバス「すまいる」駅前商店街のりばから
 【田原・文京方面】「宮前町」下車
 ●えちぜん鉄道【三国芦原線】「西別院」駅下車 徒歩10分
 ●福井鉄道「田原町」駅下車 徒歩15分または
 コミュニティバス「すまいる」で5分
 北陸自動車道「福井北インター」より 西へ約10分



福井県立歴史博物館

福井市大宮2-19-15 TEL 0776(22)4675
<http://www.pref.fukui.jp/muse/Cul-Hist/>